

アルコール関連の問題に 早く対処できるために

アルコールに関する
困りごとのご相談は

西市民病院
リエゾンチーム

この冊子は、アルコール多量摂取している患者さんの
対応の助けとなるように作成されました。

2013.3

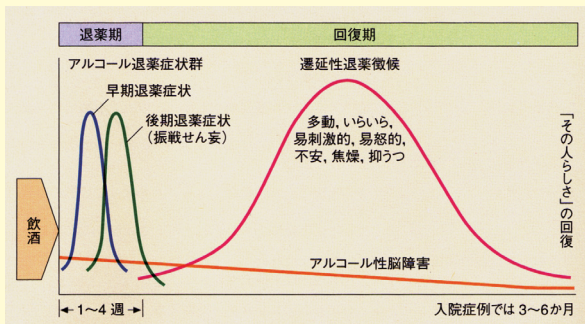
アルコール依存症スクリーニングテスト

- 飲酒量を減らさなければいけないと感じたことがありますか
- 他人があなたの飲酒を非難するので気にさわったことがありますか
- 自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか
- 神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために「迎え酒」をしたことがありますか

4項目のうち1項目でもあてはまればアルコール問題の可能性がります。

2項目以上があてはまればスクリーニングテストでは、アルコール依存症とされます。

アルコールの離脱症状

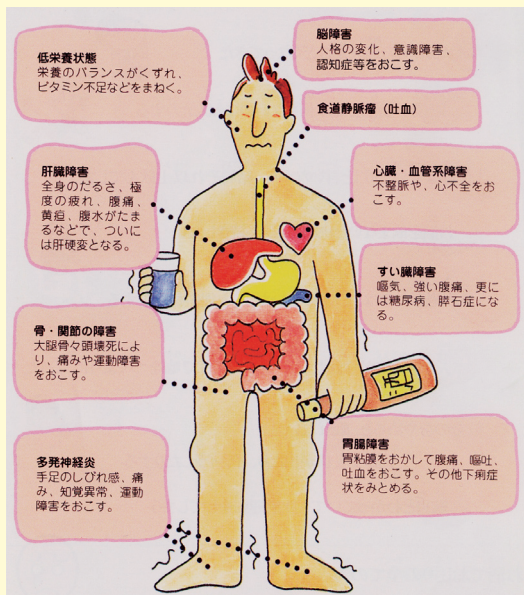


※退薬症状 (離脱症状)

離脱症状が終息した後に、情動の不安定な状態になります。それは、自己中心的、他罰的、攻撃的、被害的で、ある種の人格障害にみえます。

この人格の偏りは遷延性離脱症状の改善に並行して軽減ないし消失します。情動障害が改善してもなお残る人格の偏りは、生来の人格障害やアルコール性脳障害による器質性人格障害と判断されます。

アルコールによって引き起こされる健康障害



アルコール離脱症状に対する薬物療法

離脱症状の予防 セルシン (2) 8錠分4 (食後、寝る前)
状態にあわせて漸減、中止

夜間せん妄・離脱せん妄の予防

リスパダール0.25mg ~ 0.5mg

不眠を合併している場合

レンドルミン1錠など 寝る前に併用

せん妄時 (『せん妄の診断と治療』ポケットブックを参照)

セレネース1A+生食100ml点滴静注

リスパダール液1.0 ~ 4ml経口投与など

VitB1 欠乏を合併していることを想定し対応

VitB1 (他にVitB12、葉酸など) 濃度を測定

アリナミンF注を50 ~ 100mg 静注

アリナミンF錠 25 ~ 100mg / 日 分1 ~ 2

その他 電解質 (亜鉛を含む)、葉酸、総合ビタミン剤を投与

アルコール離脱症状が出現している人への対応

1. 身体的なケアを積極的に行い、身体症状の緩和を図る
2. 離脱症状を把握する (振戦・痙攣・発汗・発熱・頻脈・焦燥など)
3. 安全を確保する (転倒・暴力・自殺企図など)
4. アルコール離脱症状の治療に使用されている薬の副作用を観察し、対処する。(便秘・口渴・アカシジアなど)
5. 退院が近づいたら専門医療機関や、自助グループとの連携を検討する
(施設の詳しい情報やご相談は、リエゾンチームまで!)

1) Ewing JA : Detecting alcoholism : The CAGE questionnaire. JAMA252 : 1905-1907,1984

2) Ewing JA (北村俊則訳) : CAGE質問票. 精神科診断学2 : 359-363, 1991

3) 日野原重明, 井村裕夫 : 看護のための最新医学講座12 精神疾患, 246-248, 2002

4) 兵庫県立光風病院アルコール依存症専門治療病棟 : 「お酒で困っていませんか?」, 2012